2025年5月　発行

「いじめについて考える授業」

～３年生 version～

4月15日に「いじめ防止推進授業」を実施しました。1･2年生に引き続き、3年生の生徒の授業を終えての想いを一部紹介します。自分はもちろん、相手･クラス･学校という視点に立って考えを深めている姿勢がたいへん伝わってきました。本号と合わせて、ぜひとも通信[第4号][第5号]も合わせて読んでください。そして、杉中から「いじめ」をなくしましょう。

「いじめ」をなくすために『あなたができること』･『クラスができること』とは…【表面】

「いじめ」について、自分が感じたこととは…【裏面】

クラスの1人1人が相手を思いやり、協力するといった考えをもつ。また少しでもあれ嫌だなとか、危ないとか思ったときは伝えることも大切。じゃないと嫌だと言われなかったら大丈夫なんだとなって悪いことを続けてしまうから。だから自分の意見とかをしっかり相手に伝える、言い合うことができると良い。

自分は相手のことをしっかりと思いやり、相手の気持ちを尊重する。もしいじめを見かけたら、先生に伝えるといったことをしたい。またもし考える前に自分が相手に嫌なことを言ってしまったりしていたら、気がついたときにあやまったりなどするべきだと思った。他にも自分にできることはなるべく行動できるようにしたい。

「ごめんありがとう」とか優しい言葉をいっぱい増やす。
1人にしずみんなで仲よくできるようにする。

1人1人ちがう人なんやから、考え方とかがちがうのはあたり前ってことをちゃんと理解して、自分と考えがちがうこともそういう考えもあるのかと思うことが大事だと思います。

いじめをやっているところを見つけたら、いじめている方が友達ならやめなっていえると思う。いじめられている方だったら後から声をかけに行くと思う。どっちも全然知らない人だったら、友達や親、先生に相談しようと思う。

・今はまだ起きていないと思うけど、今後絶体に起こさないために困っている人、悩んでいる人がいたら、声をかけたり、クラスの一員として、全員平等に絶対に上下関係などがうまれないように心がけたいです！
・一人一人の意識が大切！　（と明るいクラスに！）

クラス全体でいじめに対する考え方、対策を話し合い、共有、統一する。
全員が相手の気持ちを考えてから行動・発言をする。けんかや争い事は当事者たちだけで解決させる。他の人は下手に関わらない。

いじめをなくすために、私ができることは1人でいる人に積極的に話しかけることです。もう一つ、自分から相手が傷付いたり嫌だと思う発言をしないことです。どんなときも相手を思いやる心を持って人と接したら、いじめを減らすことができると思います。

自己肯定感が高い学校
一人ひとりの個性が輝いている学校
思いやりをもってどんなことでも言い合える学校
杉中生が輪で繋がっている学校

杉中生の想いが学校･社会を変える

いじめはダメなことだとは自分かっているはずなのに起こるのは本当に不思議です。生きていくうえで人と意見や行動なんかがちがうのはあたりまえで、それら全てをうけ入れればいじめは少なくなると思いました。

。いじめを減らすためには、他の班の人がみんなが入りやすい空気・場所をつくるのが大切と言っていた。クラスが楽しかったと終わるためには、3-6が良い居場所であり安心できるようなクラスである必要があるとあらためて思いました。クラスの中で仲良いグループにわかれるけど、みんなで一緒にいるときにどんだけ楽しめるかはクラスの空気が大切だと思ったのでこれからの3-6では いろんな人を受け入れれる1人ひとりの気持ちをもってそれをクラスに表していきたいと強く思いました。

③本時の感想

人はそれぞれ違うから好き(な人)や嫌い(な人)は変わってくるということを改めて分かった。また、クラスができることの他の班の意見で「みんなが輪の中にはいれるクラスを作る」という意見がとても印象に残り、自分もそれを目指していきたいと思った。自分は言葉づかいにひっかかる部分があるのでこれからは気を付けていきたい。

いじめをなくすためには、どうすれば良いのかを考えてみて、相手の良い所を見つけることがすごく大切だと思いました。悪ノリをしすぎてしまったり、いじりがひどくなっていじめになってしまうことが多いのかなと感じました。歳があがるにつれ、いじめをする事に対して絶対にしてはいけないという意識が薄くなると思います。でも、逆にかわいいじめになってもうことがあるんじゃないかなと考えました。(クラス)全員がいじめをないクラスにしたいと思えると良いなと思いました。

合う、合わない人や、嫌いな人をのにはたがんできないから、それの人をどのように捨したら、イジメが起きないのかを考えることがとても大事だと思った。日頃から、きつい言葉を使ったりするのをさけて話すようにしているから、これからも続けられるようにしたい。また、「ありがとう」を言われるとうれしいし、雰囲気も良くなるので、「ありがとう」や「ごめん」をしっかり言うようにしたい。

人には好き嫌いがあって、それは人間関係にも言えることなので「クラスを一つにする」というのはまだ難しいと直感で感じました。まだどうやってクラスを一つの輪にできるのか、解答は見つかっていませんがこれからの学校生活でvery go 意識して行動していくつもりです。

いじめることでその子の大切な時間がとってもうばわれると知って絶対にいじめはしたらいけないことだなと思いました。もし、自分がいじめられたら絶対一人でかかえないようにしたいです。毎回もやっていくことにいじめがダメな理由が深くなっていくし、みんなの意見が聞けるから考えがより良くなっていくなと思いました。今できると思っていても本当におこっているところを実際に見てしまったら何もできないかも知れない…そのときに正確な行動をとれるように日頃から考えをくことも大切だと思いました。

こうして授業でいじめについてしっかり考えられる機会をとることができて良かったです。いじめが実際に起きてしまった時に、一番多いのは多分傍観者の人だと思うので、私は絶対その中に入らないようにしたいです。傍観者は何もしてないように見えて、実はいじめに大きく加担しているので、そのことを常に覚えておこうと思いました。

いじめについて学べる機会がたくさんあって、理解してきたつもりだったけど、今回ほど深くは理解できていなかったと感じました。差別的な思いや自分の自信などが原因でいじめが起こっていると分かったから、自己肯定感をクラスで高め合えたら、ほとんどの原因をなくすことができると思いました。